

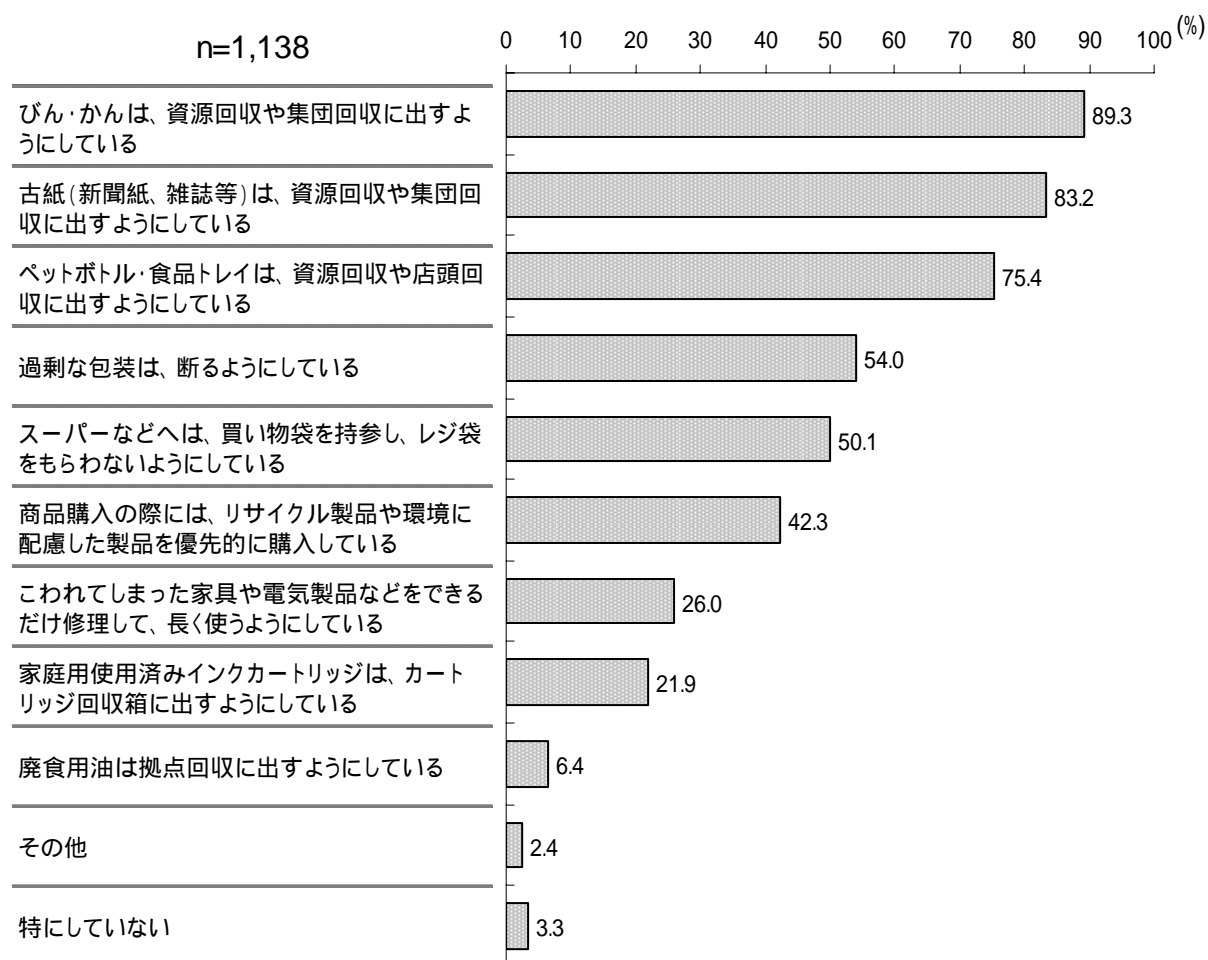
4 . 清掃・リサイクルの推進

(1) ごみ減量のため工夫していること

(全員の方に)

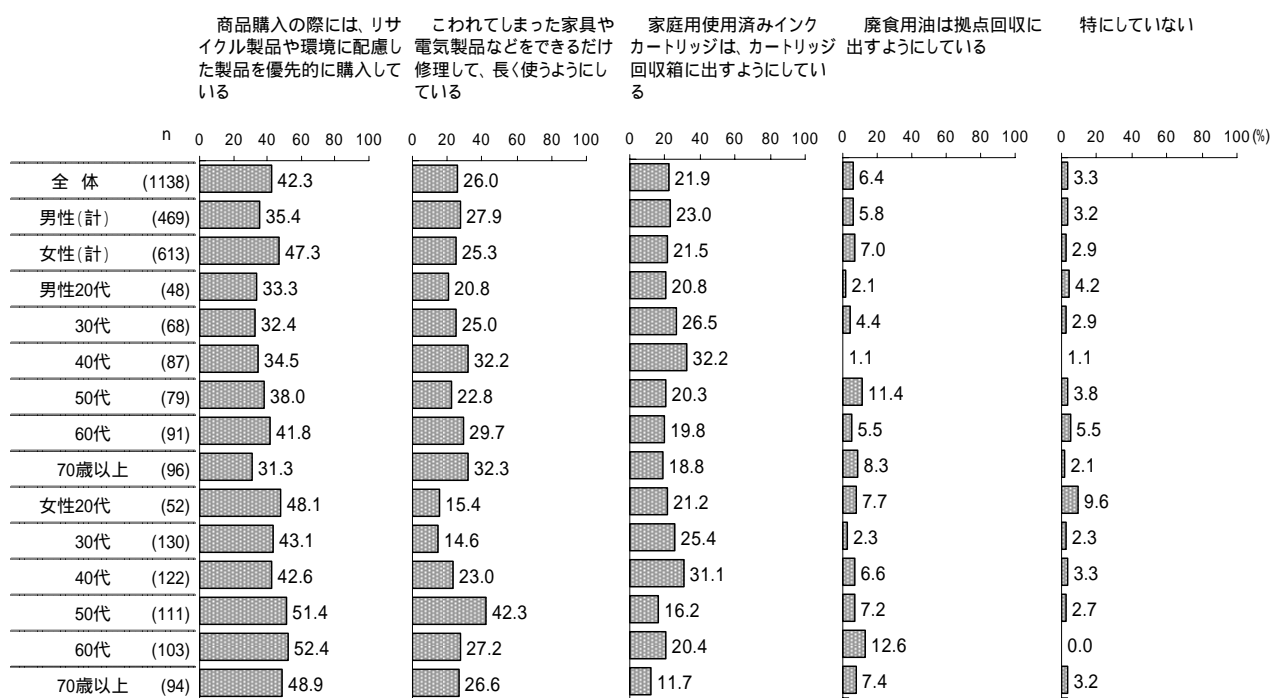
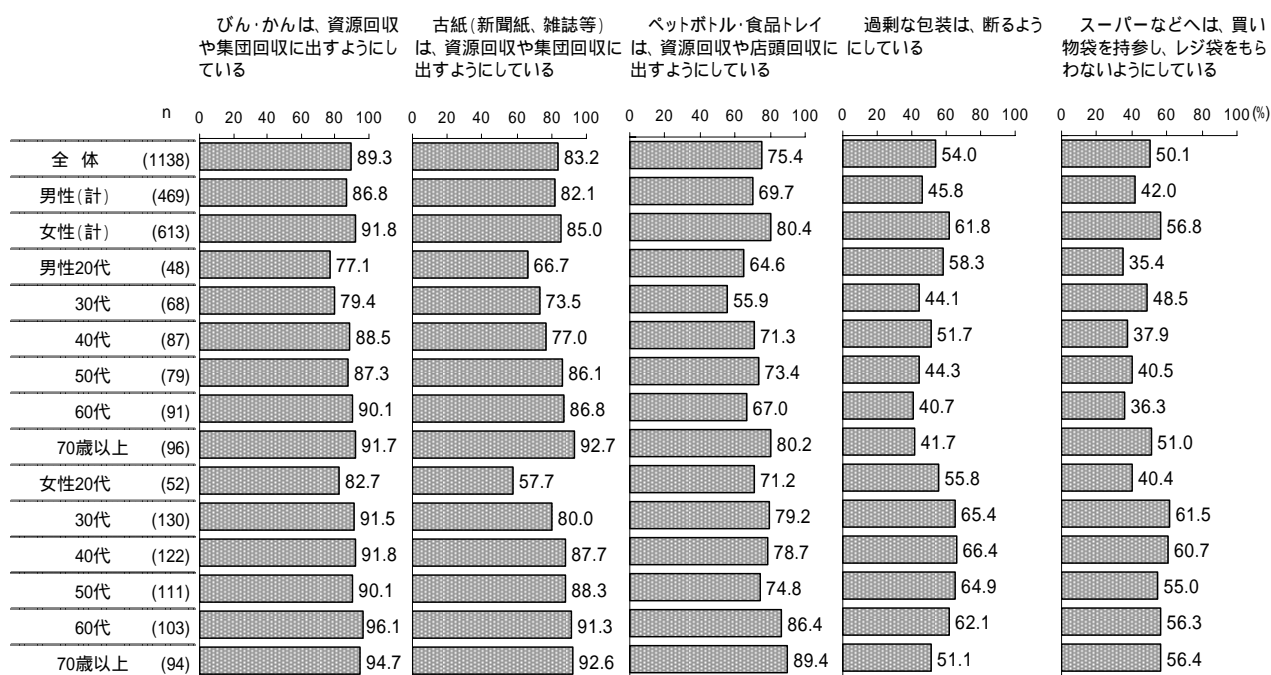
問9 . あなたは、ごみ減量のために普段の生活の中でどのような工夫をしていますか。

(いくつでも)



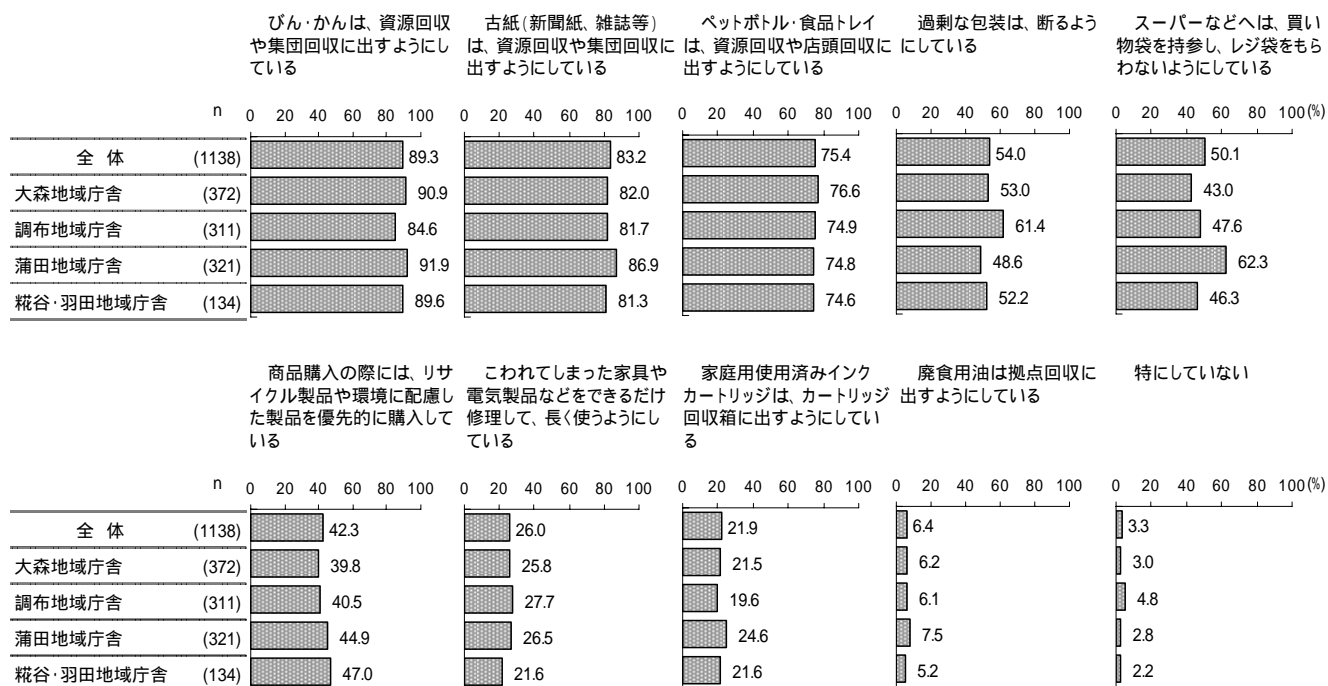
- ・ 全体で見ると、「びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」(89.3%) が約9割で最も高く、次いで「古紙(新聞紙・雑誌等)は、資源回収や集団回収に出すようにしている」(83.2%)、「ペットボトル・食品トレイは、資源回収や店頭回収に出すようにしている」(75.4%)の順となっている。

[ごみ減量のため工夫していること - 性/年代別(上位10項目)]



- ・性別にみると、ほとんどの項目で女性が男性より割合が高くなっているが、特に「過剰な包装は、断るようになっている」では16.0ポイント、「スーパーなどへは、買い物袋を持参し、レジ袋をもらわないようにしている」では14.8ポイント、「商品購入の際には、リサイクル製品や環境に配慮した製品を優先的に購入している」では11.9ポイント、それぞれ女性が男性より高くなっている。
- ・性/年代別にみると、「びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」や「古紙(新聞紙・雑誌等)は、資源回収や集団回収に出すようにしている」では、全年代において半数以上の高い割合ではあるが、特に年代が高くなるにつれて割合も高くなる傾向がある。
- ・「過剰な包装は、断るようになっている」では男性において若い年代ほど割合が高くなっている。

[ごみ減量のため工夫していること - 地域庁舎管内別 (上位 10 項目)]



- ・ 地域庁舎管内別にみると、「過剰な包装は、断るようになっている」では調布地域庁舎管内で6割強、「スーパーなどへは、買い物袋を持参し、レジ袋をもらわないようにしている」では蒲田地域庁舎管内で6割を超え他の地域と比べて高くなっている。